



地球観測データの統合化に向けて

研 究 開 発 局

環 境 エ ネ ル ギ ー 課

平成25年6月

国内の地球観測データの統合化に向けたこれまでの経緯

1. 「地球観測の推進戦略」(平成16年12月、総合科学技術会議)

- 「全球地球観測システム(GEOSS)10年実施計画」(2005-2015)への我が国の対応指針を示す。
- 「関係府省・機関の特徴や強みを活かしながら、データ収集から情報提供にいたる段階が適切に統合された地球観測システムの構築に向けて連携・協調する必要」

2. 「平成23年度科学・技術重要施策アクション・プラン」(平成22年7月、科学技術政策担当大臣)

施策パッケージ「地球観測情報を活用した社会インフラのグリーン化」

- 2020年までに「地球観測データの統合化を進め、統合データが全体に占める割合を90%以上に引き上げる」ことが成果目標とされた。

3. 「平成23年度の我が国における地球観測の実施方針」(平成22年8月、地球観測推進部会)

観測データの公開、共有を進めるとともに、国内の観測システムの統合化に取り組む。
その際、**地球観測データの統合・解析システムの活用**を図る。

国内の地球観測データの統合化に向けたこれまでの経緯

4. 「国内の地球観測システムの統合に向けた具体的な進め方」

(平成22年8月、地球観測推進部会)

- 我が国において実施する地球観測事業(当面、「我が国における地球観測の実施計画」を対象)について、観測データの公開・共有のため、データの公開URL及び観測項目(インベントリ)を含む**メタデータファイルをデータ統合・解析システム(DIAS)に一元的に登録、掲載。**
- 原則として、DIASのメタデータ作成支援ツールを利用。
- 「平成23年度我が国における地球観測の実施計画」から着手。
- 必要に応じて説明会等を開催。

5. 「地球観測データおよびメタデータのアーカイブと連携利用の促進に関する説明会」

(平成24年5月、文部科学省/地球環境情報統融合プログラム)

- 関係府省・機関に協力依頼、作業開始。(説明会出席者:14府省庁等16機関63名)
- 「平成23年度我が国における地球観測の実施計画」記載の155事業を対象。
- 各事業が取得・作成したデータセットの性質を考慮しながらメタデータを収集。

地球環境情報統融合プログラム (平成23~27年度)

概要



地球観測データ、気候変動予測データ、社会経済データ等を統合解析して創出される革新的な成果について、国際的・国内的な利活用を促進するため、**地球環境情報の世界的なハブ(中核拠点)**となるデータ統合・解析システム(DIAS)を整備し、**DIASの高度化・拡張と利用促進**を図る。

・国際社会が直面する地球環境問題の解決に取り組むためには、現在の地球環境の正確な理解と将来の地球環境に関する高精度な予測に基づいて、適切な影響評価と対策立案が必要。
 ・地球観測衛星等によって得られる観測データ、世界最先端の気候変動予測研究による予測データと社会・経済データを統合的な利活用を可能とする**統合基盤技術が必須**。

地球環境情報統融合基盤整備

~DIASの高度化・拡張~

自然現象や人間活動に関する多様な観測・気候変動予測データ等の収集、蓄積、統合・解析、情報提供までを効率的に行うため、データ・情報統融合の研究開発及び基盤整備を実施することによって、DIASの高度化・拡張を図る。



長期運用体制の構築

~DIASの利用促進~

DIASの長期・安定的運用の確立とサービス提供の開始に向けて、運用体制の在り方の検討その設計を行う。関係府省及び機関等からの連絡窓口として円滑な連携体制を構築する。



関係府省、機関及びGRENE(環境情報分野)等の研究プログラム等との連携

期待される成果

- 利用ニーズに基づく観測・予測データ(メタデータを含む)のアーカイブによる効率的な研究活動の実現
- 地球規模課題への対応に不可欠な大容量データ・情報の統融合技術の高度化
- 地球観測情報を融合、活用しイノベーションを創出するための**連携プラットフォーム**の共通基盤機能の提供
- DIASの利活用により「**全球地球観測システム(GEOSS)**」が対象とする9つの社会利益分野の目標達成の推進が期待
- DIASに投入される気候変動予測データの公開により気候変動に関する政府間パネル(IPCC)、結合モデル相互比較計画(CMIP)等に貢献し、その研究成果はIPCC第5次評価報告書(AR5)を通じ**気候変動対策等の判断材料として活用**



平成24年度科学術重要施策アクションプラン【地球観測情報を活用した社会インフラのグリーン化】

- ・地球観測・予測・統合解析システムが重要な社会的・公共的インフラと位置付け
- ・世界レベルで地球観測・予測・統合解析の強化と関連する情報を様々な人が手軽に利用できる情報プラットフォームの構築について、2014年を目途に国内外での技術実証を行い、2020年までには国際的に展開されている事を目標とする

